

エアライン

学年	科目名
1	航空業界研究
1	エアカーゴ概論
1	ペン字
1	ビジネスマナー
1	航空業界受験対策（GS/GH/CA）
1	就職活動講座
1	TOEIC/英検対策Ⅰ
1	TOEIC/英検対策Ⅱ
1	コミュニケーションリッパ
1	第2外国語（中国語・韓国語）
1	SPⅠ言語対策
1	SPⅠ非言語対策
1	コンピュータ
1	アマテウスアルテア
1	空港実務
1	グランドハンドリング
1	CA受験対策
1	プレゼンテーション
1	危険物取扱者試験対策
1	選択TOEIC
2	航空機概論
2	コミュニケーションリッパ
2	観光英語
2	社会情勢研究
2	コンピュータ
2	アマテウスアルテア
2	CAゼミ

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	航空業界研究				クラス	Q・Y
担当講師(フルネーム)	吉原 正彦				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	航空会社及び関連会社の事業(グループ経営、等)について学ぶ 航空の安全とリスクマネジメントについて学ぶ				授業形態	講義
到達目標	航空業界の全体を理解し、就職活動に役立つ知識を習得する					
使用テキスト	エアライン・マネジメント(戦略と実践)・プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	後期授業内容(授業の進め方、成績評価方法)を具体的に説明する 前期授業内容(航空業界の歴史・航空会社の仕事)を復習する 航空会社の今後の動向について説明し学ぶ				
2回	航空貨物輸送	航空貨物の特徴について学ぶ 航空貨物マーケットについて学ぶ 航空貨物のこれから(輸送品質の向上)について学ぶ				
3回	グループ経営	グループ会社設立の目的について学ぶ 航空会社におけるグループ経営について学ぶ 航空会社のグループ経営の考え方と課題について学ぶ				
4回	航空機運航情報	運航スケジュールの見方(FLT NUMBER等)について学ぶ 飛行機の登録番号(SHIP NUMBER)について学ぶ フライトオペレーションでのブリーフィング内容、等について学ぶ				
5回	安全とリスクマネジメント	航空会社にとっての「安全」について学ぶ 航空会社の安全管理の仕組みについて学ぶ 航空会社における安全文化の醸成について学ぶ				
6回	安全とリスクマネジメント	航空会社での安全運航堅持のための取り組みについて学ぶ リスクマネジメントの目的について学ぶ 航空を取り巻くリスクについて学ぶ				
7回	企業風土改革	企業理念と意識改革について学ぶ 部門別採算制度の効果と課題について学ぶ 自立型人材の育成が企業風土改革に必須であることについて学ぶ				
8回	社会課題への取り組み	社会課題への取り組みの必要性について学ぶ 物流面での地域活性化貢献施策について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
9回	航空事業のこれから	サービスの進化(FAST TRAVEL)について学ぶ 空の移動改革を実現するエアモビリティについて学ぶ 航空(超音速)・宇宙分野への挑戦について学ぶ				
10回	世界と日本のエアライン	エアラインを取り巻く環境について学ぶ エアライン発展の一世紀について学ぶ 日本航空と全日空、新しいエアラインの動向について学ぶ				
11回	日本の航空輸送	日本の航空輸送の変遷について学ぶ 日本の航空輸送の今後の課題について学ぶ				
12回	世界の航空輸送	世界の航空輸送の歴史について学ぶ 世界の航空輸送の枠組みについて学ぶ 国際旅客輸送の現状について学ぶ				
13回	空港の基本構造	空港の基本構造について学ぶ 日本の航空、ランウェイデータについて学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
14回	期末試験	航空会社の今後の戦略について学ぶ 期末試験を実施				
15回	まとめ	期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ、補足				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	エアカーゴ概論				クラス	Qクラス
担当講師(フルネーム)	秦 隆益				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	国内・国際貨物、郵便取扱業務およびロードコントロール業務の経験をもとに航空貨物取扱全般に加えてその他付随する他業務について講義				授業形態	講義&演習
到達目標	航空貨物取扱いについての基礎知識を学ぶことにより、航空業務の視野を広げる					
使用テキスト	エアカーゴマニュアル 資料プリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	貨物の輸送形態	・前期振り返り ・梱包基準 ・貨物受託基準 ・保管基準 ・荷役作業基準 ・積付基準 ・取扱いラベルの説明				
2回		・床面制限重量 ・重量分散 ・タイダウン要領				
3回		・運航重量の算出 ・重量差異の確認 ・搭載指示書 ・通気が必要な動物取扱い				
4回	危険物輸送	・危険物の分類 ・航空郵便として輸送可能な危険物 ・隠れた危険物(申告漏れになりがちな危険物)				
5回		・危険物受託要件 (申告書・IATA規則書・ラベリング・マーキング・運送状・受託チェックシート)				
6回		・少量危険物 ・微量危険物 ・CAO ・搭載基準 ・隔離基準				
7回	イレギュラーケース	・運航部門への通知 ・機長への通知 ・危険物事故処理要領 ・危険物に起因する事故事例紹介				
8回		・イレギュラーの種類 ・貨物損傷、紛失 ・オフロード、欠航、ダイバート時の対処 ・事故の種類、要因等と損害賠償				
9回		・WIDE/NARROW BODY AIRCRAFTの特性 ・搭載計画書を作成する上での注意点 ・搭載基準、隔離基準				
10回	ロードプラン	・ロードプラン作成演習				
11回	ウェイト&バランス	・ウェイト&バランスの概要 ・ウェイト&バランスの目的				
12回		・用語の説明 ・重量の構成、重心位置、運用限界				
13回		・ウェイト&バランスシート作成演習				
14回	後期のまとめ / 期末試験	・後期授業のまとめ ・期末試験				
15回	期末試験の解説	・期末試験解答用紙の返却 ・期末試験の解説 ・1年間のまとめ				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン	
科目名	ペン字				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	黒岩美樹				実務経験	
授業概要(内容)	文字の基本を学び、様々な用途に合わせた書式とバランスを学ぶ				授業形態	講義
到達目標	実用ペン字・筆ペンの指導を通じて社会人としての教養を身につける。					
使用テキスト	オリジナルテキスト・下敷き・ペン2種類・筆ペン					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	オリエンテーション、授業の進め方 文字を書くための基本～姿勢・ペンの持ち方・種類				
2回	美文字になるためのポイント①	文字の基本を学ぶ① 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ①				
3回	美文字になるためのポイント②	文字の基本を学ぶ② 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ②				
4回	美文字になるためのポイント③	文字の基本を学ぶ③ 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ③				
5回	美文字になるためのポイント④	文字の基本を学ぶ④ 文字(片仮名・平仮名)のバランスの取り方を学ぶ				
6回	履歴書の書き方①	文字を書くための基本～姿勢・ペンの持ち方・種類 読みやすい履歴書を書くためのバランスと書式を学ぶ～横書きの書式 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習と名前の練習～下書きを作る				
7回	履歴書の書き方②	履歴書まとめ①				
8回	履歴書の書き方③	履歴書まとめ② ～提出				
9回	実用書を学ぶ①	はがきの表書き～配字(書式)とバランスの取り方を学ぶ 封筒(縦長 長形4号)の書き方一個人・企業宛の書き分け①				
10回	実用書を学ぶ②	封筒(縦長 長形4号)の書き方一個人・企業宛の書き分け② 封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方一個人・企業宛の書き分け①				
11回	実用書を学ぶ③	封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方一個人・企業宛の書き分け② まとめ				
12回	実用書を学ぶ④	手紙の書き方 内定後のお礼状の書き方—縦書きの書式				
13回	筆ペンで実用書を学ぶ①	筆ペンの特徴と書き方 筆ペンで自分の名前の練習(楷書・行書)				
14回	筆ペンで実用書を学ぶ②	慶弔の表書き① 「御祝」「寿」の練習と熨斗封筒の書き方				
15回	筆ペンで実用書を学ぶ③	慶弔の表書き② 「御仏前」「御霊前」の練習と不祝儀袋の書き方				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン・ITビジネス・鉄道・国際ビジネス・夜間総合観光		
科目名	ビジネスマナー				クラス	QHNDY	
担当講師(フルネーム)	田中 友加利 池田 香織				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ。 ・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。				授業形態	講義	
到達目標	ビジネス能力検定ジョブパス3級合格を目指す。(12/7(日)受験)						
使用テキスト	ビジネス能力検定3級テキスト2025年度版						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	1 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	過去問題		後期授業の進め方について 過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
2回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
3回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
4回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
5回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
6回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
7回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
8回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
9回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
10回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
11回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
12回	自己採点		12/7(日)試験の自己採点をする				
13回	社会人としての心構え		ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。				
14回	社会人としての心構え		ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。				
15回	期末試験		期末試験				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空業界受験対策 (GH)				クラス	Q②
担当講師(フルネーム)	吉原 正彦				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験に向けた書類作成、面接練習を行う				授業形態	講義
到達目標	目標に向け取り組みませ、内定を勝ち取る					
使用テキスト	適宜プリント配布					
成績評価方法	・課題、提出物、授業態度で評価する ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法について説明する 就職活動(学校の規則・手続き、等)について学ぶ 個々と面談(方向性の確認)				
2回	受験準備	就職活動(航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削)				
3回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削)				
4回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削)				
5回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削) 面接練習、フィードバック				
6回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削) 面接練習、フィードバック				
7回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削) 面接練習、フィードバック				
8回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削) 面接練習、フィードバック				
9回	受験対策	書類作成(添削) 面接練習、フィードバック				
10回	受験対策	書類作成(添削) 面接練習、フィードバック				
11回	受験対策	面接練習、フィードバック				
12回	受験対策	エントリーシート、履歴書の作成 面接練習、フィードバック				
13回	受験対策	エントリーシート、履歴書の作成 面接練習、フィードバック				
14回	受験対策	エントリーシート、履歴書の作成 面接練習、フィードバック				
15回	まとめ	社会人としての自覚を持たせる 個々と面談				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科		
科目名	航空業界受験対策(GS)				クラス	Q1	
担当講師(フルネーム)	原田歩				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	全体で共有し、仲間の意見を参考にしながら進める GSの役割や求められる能力を理解し、ESや面接の対策を行う				授業形態	講義	
到達目標	内定を目指し、働く覚悟を持つ						
使用テキスト	就職活動ノート(各自使用しているもの)						
成績評価方法	課題、小テスト、授業態度で評価する				単位数	2	
	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						
期末試験	2 期末試験なし						
	テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション		授業の目的、進め方、成績評価方法について 1分間スピーチについて				
2回	自己分析		振り返り共有する 自己PRを見直す 面接				
3回	求められる人物像		GSの業務、役割を復習する GSに求められる能力を考える 面接				
4回	目指すGS像と人物像		GSとして3年後、5年後、10年後の業務、役割について学ぶ 目指すGS像と人物像を考え共有する 面接				
5回	志望動機		志望動機を考える 具体的に自分の言葉で伝えているか確認する 面接				
6回	グループディスカッション		様々な討論方式を紹介する 進行のポイントを学び実践する				
7回	グループディスカッション		様々なテーマでディスカッションする 面接				
8回	サービス		サービスについて考える 面接				
9回	クレーム		クレームについて考える 面接				
10回	試験対策		面接・添削				
11回	試験対策		面接・添削				
12回	試験対策		面接・添削				
13回	試験対策		面接・添削				
14回	試験対策		面接・添削				
15回	試験対策		面接・添削				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	航空業界受験対策				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	奥村 リサ				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職面接における一次面接突破の為の面接などの練習				授業形態	講義&演習
到達目標	CA受験に自信を持って臨める為の面接レベルを目標とする					
使用テキスト						
成績評価方法	授業内試験50% 模擬面接 平常点50%(授業態度30%・身だしなみ10%・課題の取り組み10%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について CAの仕事 求められている能力について				
2回	第一印象	第一印象のブラッシュアップ				
3回	自己分析①	過去を振り返る 他人から見える自分を理解する				
4回	自己分析②	強みや価値観の整理				
5回	企業研究	企業の求める人材について考え、自分のアピールポイントを見つけ出す				
6回	立ち居振る舞い・敬語	美しい立ち居振る舞いや敬語の習得				
7回	面接対策	集団面接質疑応答 自己紹介、志望動機について				
8回	面接対策	面接で聞かれる質疑応答に対する演習 第一印象、立ち居振る舞い、言葉遣いなどの確認				
9回	面接対策	質問の深掘り				
10回	面接対策	個別面接				
11回	面接対策	他己PR・他者評価で学ぶ				
12回	面接対策	総合まとめ対策				
13回	期末試験①	集団面接質疑応答				
14回	期末試験②	個人面接質疑応答				
15回	まとめ	後期の授業を振り返り、なりたい自分像を明確にする				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	就職活動講座				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	原田 歩				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職内定に向けて面接対策を実施				授業形態	講義
到達目標	深掘にも対応できる面接レベルを目標とする					
使用テキスト	就職ノート					
成績評価方法	授業態度、提出物、身だしなみにより評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	業界求人動向 1年次前期の振り返り 企業説明会参加時の心構え				
2回	模擬面接	グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック				
3回	模擬面接	グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック				
4回	模擬面接	グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック				
5回	模擬面接	グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック				
6回	模擬面接	グループ面接(応用) フィードバック				
7回	模擬面接	グループ面接(応用) フィードバック				
8回	模擬面接	グループ面接(応用) フィードバック				
9回	模擬面接	エントリーシート・履歴書作成の仕方 志望動機の書き方				
10回	模擬面接	WEB面接・動画作成について 志望動機、自己PR、ガクチ力確認				
11回	模擬面接	グループ面接 フィードバック				
12回	模擬面接	グループ面接 フィードバック				
13回	後期試験	グループ面接 フィードバック				
14回	模擬面接	グループ面接 フィードバック				
15回	まとめ	理想の社会人像、キャリアプランについて発表 就職活動全般の質疑応答				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン・ 鉄道・国際ビジネス・夜間総合観光科	
科目名	TOEIC I				クラス	EQNDY①
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。				授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する					
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集11					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Part1		授業の進め方、評価方法の説明 写真をチェックする 人物、風景と物、乗り物についての表現			
2回	Part2(2)		Yes/No疑問文 付加疑問文 平叙文			
3回	Part3(2)		設問を先に読む 設問の意味を単純化する 選択肢を読む			
4回	Part4(1)		Part4の攻略の基本を学ぶ 設問の順番に沿ってヒントを聞き取る 会議の抜粋やスピーチを聞く			
5回	Part5(1)		Part5の攻略の基本を学ぶ 品詞問題 名詞・動詞・形容詞・副詞			
6回	Part5(4)		関係代名詞 先行詞が人か物かをチェックする 主格・目的格・所有格の判別			
7回	Part5(6)		準動詞の形と役割を理解する 不定詞・動名詞の練習問題 分詞の形と用法を理解する			
8回	Part7(1)		Part7の攻略の基本を学ぶ 短い文章から取り組む 広告・Eメールを読む			
9回	模試		リスニング模試 Part1/Part2/Part3/Part4 答え合わせと解説			
10回	模試解説		リーディング 文法解説 読解解説			
11回	Part7(2)		ウェブページ、用紙を読む 文脈を意識して読む 練習問題			
12回	Part7(4)		Eメール、記事を読む 頻出語彙 練習問題			
13回	Part7(5)		ダブルパッセージ 2文書参照問題の解き方 記事とEメール			
14回	期末試験対策		語彙問題 文法問題 読解問題			
15回	TOEIC S&W		TOEIC S&Wテストの案内 スピーキング ライティング			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン・ 鉄道・国際ビジネス・夜間総合観光科	
科目名	TOEIC II				クラス	EQNDY①
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。				授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する					
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集11					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Part2(1)	Part2の攻略の基本を学ぶ WH疑問文を聞きとる キーワードをとらえる				
2回	Part2(3)	「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 音のひっかけに注意する 練習問題				
3回	Part3(1)	Part3の攻略 音のひっかけに注意する 練習問題				
4回	Part3(3)	設問を先に読む 図・イラスト問題を攻略する 選択肢を読む				
5回	Part4(2)	場所を問う問題 職業を問う問題 次の行動を問う問題				
6回	Part5(2)	品詞問題 発展編 文脈から適切な意味の語を選ぶ 複合名詞				
7回	Part5(3)	動詞の形と役割 時制 態				
8回	Part5(5)	代名詞・限定詞 適切な格を判断する 可算名詞・不可算名詞				
9回	Part6	Part6の攻略の基本を学ぶ 設問を分類する 文法・語彙問題を解く				
10回	模試	リーディング Part5/Part6/Part7 答え合わせ				
11回	IPテスト対策	リスニング対策 リーディング対策 頻出語彙				
12回	Part7(3)	テキストメッセージ 意図問題の解き方 パンフレット				
13回	Part7(6)	トリプルパッセージ 議題・お知らせ・テキストメッセージ 報告書・Eメール・広告				
14回	期末試験(予定)	Part5/Part6/Part7 単語プリント				
15回	まとめと復習	期末試験のフィードバック 文法・語彙問題 読解問題				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル、エアライン、鉄道、国際ビジネス、夜間総合観光科		
科目名	英検対策Ⅰ＆Ⅱ				クラス	EQNDY	
担当講師(フルネーム)	平島千華、日高郁子、脇谷奈々、猪口明日香、加藤亜希				実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)	
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。				授業形態	講義	
到達目標	英検2025年度に合格できる力をつける。						
使用テキスト	2025年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	1 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	過去問題①		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
2回	過去問題①		長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
3回	過去問題①		リスニング問題 英作文指導 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
4回	過去問題①		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
5回	本試験		本試験の自己採点及び解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
6回	二次試験対策		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
7回	二次試験対策		長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
8回	過去問題②		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
9回	過去問題②		長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
10回	過去問題②		リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
11回	過去問題②		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
12回	過去問題③		長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
13回	過去問題③		リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
14回	期末試験対策		長文読解 英作文問題 リスニング問題				
15回	期末試験		前期授業総括 期末試験解説 前期総復習				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	Qクラス
担当講師(フルネーム)	久保田 博子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	日常生活および空港・航空機内で使う語彙や会話表現を学び オンラインレッスンで実践する				授業形態	講義&演習
到達目標	学んだ英語をエアライン業界での接客に活かせるようにする					
使用テキスト	予習・復習プリント ※ヘッドセット持参のこと					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価70% 平常点30%(出席点+スキル別トレーニング) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	日常英会話 基礎編	Lesson11 感想①				
2回	日常英会話 基礎編	Lesson12 感想②				
3回	おもてなし英会話	Lesson6 空港:出発ゲートの業務				
4回	日常英会話 基礎編	Lesson13 ほめる①				
5回	日常英会話 基礎編	Lesson14 ほめる②				
6回	おもてなし英会話	Lesson7 空港:預け入れ荷物の返却				
7回	日常英会話 基礎編	Lesson15 気づかう				
8回	日常英会話 基礎編	Lesson16 依頼				
9回	おもてなし英会話	Lesson8 空港:よく聞かれる質問				
10回	日常英会話 基礎編	Lesson17 提案①				
11回	日常英会話 基礎編	Lesson18 提案②				
12回	おもてなし英会話	Lesson9 機内:搭乗時				
13回	日常英会話 基礎編	Lesson19 スモールトーク①				
14回	日常英会話 基礎編	Lesson20 スモールトーク②				
15回	おもてなし英会話	Lesson10 機内:離着陸時				

対象学年	1・2・3年共通	学期	通年(後期)	学科	エアライン、ホテル・ブライダル、鉄道科	
科目名	中国語				クラス	Q・A・A3・M
担当講師(フルネーム)	青山祐子				実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)
授業概要(内容)	中国語の基礎的な発音・文法・単語を習得し、簡単な会話文について				授業形態	講義
到達目標	中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高めることを目標とする					
使用テキスト	初めまして！中国語(白水社)					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末試50%+小テスト30%+平常点20%				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	前期の復習	前期習った内容のおさらい				
2回	第8課 バス停で	24. 連動文 25. 前置詞”在” 26. 時刻の言い方 27. ”是”の省略 ◆時を表わす語(2)				
3回	トレーニング8	28. 助動詞 ”会”・”能”・”可以”				
4回	復 習	今まで勉強した内容についての小テスト				
5回	第9課 放課後に	29. 前置詞 ”跟”と”给” 30. 主述述語文				
6回	トレーニング9	31. 様態補語 32. 経験を表わす”过”				
7回	第10課 卓球の中継を見ながら	33. 比較を表わす”比” 34. 動詞 ”喜欢” 小テスト				
8回	第11課 ディズニーランドで待ち合わせ	トレーニング10 35. 進行を表わす”在”				
9回	トレーニング11	36. 方向補語 37. 選択疑問文				
10回	中国語の歌を習おう！	中国語の歌をマスターしよう！				
11回	第12課 カフェテラスで	38. ”是～的”の文 39. 結果補語				
12回	トレーニング12	40. 時間の長さ・動作の回数を表わす語の位置 ◆ 時間の長さを表わす語 小テスト				
13回	期末テスト対策	復習プリント				
14回	期末テスト自己紹介	今まで習った表現を使って自己紹介しよう。				
15回	総復習	これまで習得した表現を使って、業務上で使う会話を実践しよう。				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	鉄道・エアライン・ホテル・ブライダル・夜間総合観光科		
科目名	韓国語				クラス	N・Q・A・A3・選択Z	
担当講師(フルネーム)	権京愛				実務経験	無	
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。				授業形態	講義＆演習	
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。						
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」(朝日出版)						
成績評価方法	・期末テスト50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	1 授業中に実施						
	テーマ	授業内容					
1回	前期の復習	既習のハングル文字の母音、子音、パッチムの仕組みをもう一度お復しする。 発音と読み書きの復習をする。 会話の練習をする。					
2回	漢数字と助数詞	何年、何月、何日、何分、何個など漢数字とともに使われる助数詞を覚える。 発音と読み書きの復習をする。 助数詞を使って会話の練習をする。					
3回	位置表現(場所を尋ねる)	絵を見ながら場所を尋ねる表現を学ぶ。 位置を表す名詞を覚え、会話練習をする。 クラスメートと待ち合わせの場所を決めるなど会話の練習をする。					
4回	へヨ体の作り方Ⅰ	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ① 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。					
5回	助詞	助詞をまとめて覚える。 例文を作りながら練習して覚える。 会話の練習をする。					
6回	復習と練習問題	問題を解きながら復習をする。 会話の練習をする。					
7回	へヨ体の作り方Ⅱ	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ② 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。					
8回	指示詞	指示詞を覚え、物を尋ねる表現を学ぶ。 「これはなんですか」など指示詞を使って会話練習をする。 教室にある物を利用し、名前を尋ねる会話練習をする。					
9回	復習と練習問題	問題を解きながら、復習をする。 会話の練習をする。					
10回	へヨ体の作り方Ⅲ	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ③ 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。					
11回	固有数詞	固有数詞を覚える。 固有数詞とともに使われる助数詞を学ぶ。 会話練習をする。					
12回	時を表す言葉	時を尋ねる表現を学ぶ。 「誕生日はいつですか」「今日は何月何日ですか？」など会話練習をする。					
13回	復習	復習問題を解く。 自己紹介のフレーズを覚え、韓国語で自己紹介の練習をする。					
14回	期末テスト	復習 期末テスト					
15回	まとめ	期末テストのフィードバック 文化紹介					

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ITビジネス・エアライン科	
科目名	SPI言語対策				クラス	HQ
担当講師(フルネーム)	前田 恭子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験の言語系分野の対策授業				授業形態	講義
到達目標	就職筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指し、応用力を養う					
使用テキスト	「一般常識と時事問題をひとつひとつわかりやすく」Gakken					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	日本の特産物(1)	夏休み課題提出 日本地理① 日本各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える SPI言語:同意語(意味や内容が近い語)				
2回	日本の特産物(2)	四字熟語テスト① 夏休み課題を6回に分けて小テストを行なう 日本地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める SPI言語:反意語(意味や内容が反対の語)				
3回	世界の特産物(1)	四字熟語テスト② 世界地理① 世界各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える SPI言語:ことばの意味①(語句の意味が正しいもの)				
4回	世界の特産物(2)	四字熟語テスト③ 世界地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める SPI言語:ことばの意味②(意味に適合する語句)				
5回	日本史(1)	四字熟語テスト④ 日本史① 人物に焦点をあてて歴史上の出来事を整理する SPI言語:複数の意味(意味や用法が近いもの)				
6回	日本史(2)	四字熟語テスト⑤ 日本史② 人物に焦点をあてて歴史上の出来事を理解する SPI言語:原料(加工物とその原料)				
7回	世界史	四字熟語テスト⑥ 世界史: 人物に焦点をあてて歴史上の出来事を理解する SPI言語:包含・用途・機能関係				
8回	日本文化史	時代ごとの文化・芸術を整理し、理解する SPI言語:行為関係				
9回	名言・名句	思想史:思想家の名言・名句・著書を学ぶ SPI言語:ことわざ・慣用句				
10回	発明・発見	世界の発明・発見家を学ぶ SPI言語:熟語の成り立ち				
11回	文学史	主な文学作品とその著者を学ぶ SPI言語:文の並べ換え				
12回	労働・社会保障	日本の労働・社会保障のしくみについて学ぶ SPI言語:空欄補充(適文・適語)				
13回	環境問題	日地球の環境問題について学ぶ SPI言語:空欄補充(三文完成)				
14回	後期のまとめ	後期の授業で学んだ内容を復習して期末試験に備える				
15回	期末試験	期末試験を実施し、知識の定着をはかる				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ITビジネス・エアライン科	
科目名	SPI非言語対策				クラス	HQ
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫				実務経験	無
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差がつきやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。				授業形態	講義
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ハジキ問題1		速さ、時間、距離を求める基本計算を確認する。			
2回	ハジキ問題2		速度算の実践的な問題を解く。			
3回	ハジキ問題3		旅人算(同じ方向に進む、反対方向に進む、向きあう)を解く。			
4回	割合の問題		百分率や比を使った問題を解く。			
5回	仕事算		百分率や比を使った問題を解く。			
6回	金銭の問題		損益を求める問題、損益を求める問題を解く(前期の復習)			
7回	グラフの問題		直線、放物線からなる領域の問題を解く			
8回	食塩水の問題1		食塩水の中の塩の量を求める基本計算を理解して問題を解く。			
9回	食塩水の問題2		濃度算の標準的な問題を解く			
10回	食塩水の問題3		濃度算の応用問題を解く			
11回	代入法の問題		表中のA、B、C、D、Eにあたる数を代入して式の答えを求める			
12回	順列の問題1		順列Pの計算を理解し、基本問題を解く。			
13回	順列の問題2		順列の応用問題(並べ替え、色の塗り方、円順列など)を解く。			
14回	組み合わせの問題		組み合わせの問題を解く			
15回	期末試験		組み合わせの問題を解く			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン／夜間総合観光	
科目名	コンピュータ				クラス	Q,Y
担当講師(フルネーム)	財津克宜				実務経験	有(IT業界勤務歴)
授業概要(内容)	パソコンの基本的構成やよく使うソフトウェアを知る メールやクラウドの使い方を習得しIT全般のスキルアップをはかる				授業形態	講義&演習
到達目標	パソコンの構成を理解しメールやクラウドなどのユーティリティを正しく理解し活用できるようにする					
使用テキスト	オンラインマニュアル					
成績評価方法	課題／小テスト70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	仮想デスクトップの使用	マイクロソフトアカウント 仮想デスクトップ(Microsoft Azure)接続 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
2回	仮想デスクトップの使用	仮想デスクトップ(Microsoft Azure)の使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
3回	仮想デスクトップの使用 Microsoft Office 365	OneDriveの活用 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
4回	仮想デスクトップの使用 Microsoft Office 365	SharePointの活用 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
5回	仮想デスクトップの使用 Microsoft Office 365	Teamsの活用 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
6回	AI活用	言語生成AI ChatGPT ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
7回	AI活用	言語生成AI Perplexity ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
8回	AI活用	画像生成AIを活用した画像制作 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
9回	動画生成AI活用	動画生成AIを活用した動画制作 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
10回	動画生成AI活用	動画生成AIを活用した動画制作 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Google Office演習を行う				
11回	Webコンテンツ制作	Webの仕組みや公開までの流れ ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
12回	Webコンテンツ制作	いろいろなWebコンテンツ ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
13回	Webコンテンツ制作	Webコンテンツ制作実践 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
14回	Webコンテンツ制作	Webコンテンツ制作実践 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
15回	Webコンテンツ制作 ／期末試験	Webコンテンツ制作実践 ※期末試験				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	横瀬 敦子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	予約の基礎に加え、応用へと進み航空業界の知識も深める。 座席指定や機内食・マイル登録など複雑なPNR作成を行う。				授業形態	講義&演習
到達目標	予約操作全般をマスターする。アマデウスシステム検定「初級」全員合格を目指す					
使用テキスト	amadeusu ユーザーガイド予約 早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	前期復習	後期授業の進め方について(実習者へ・検定受験について・学生便覧にて確認) 簡単なPNR作成を行う(直行・乗継ぎ・オプション指定含む) DNEエントリー入力(機材の大きさチェック)				
2回	幼児・小児の入力	小児・幼児を含む、PNR作成を行う PNRの完了後の画面確認(ステータスコードの確認) ER IR RTの違いと役割を学ぶ				
3回	予約変更と取消	予約便の変更(SB入力) 予約便の取り消し(XE・XI入力)				
4回	旅客データ訂正	旅客氏名の入力(ヘボン式確認)と氏名変更について学ぶ、入力する 連絡先(TEL)・発券期限の訂正を行う				
5回	その他・便利入力	便利入力(キーボード・画面履歴・スピードマスター)を使用して、PNR操作処理を高める アランク・マリッド・オープンセグメント作成 Service Hubについて学ぶ(画面表示方法) ※確認テスト実施				
6回	SSR入力	SSRとは何か(概要)を学ぶ 機内食入力について概要説明、メインの食事サービスコードを覚える 機内食入力を含む、PNR作成を行う				
7回	SSR入力Ⅱ	座席指定(座席番号指定)を含む、PNR作成を行う シートマップからの(グラフィックページにて)座席配列や有料・無料座席を確認する SSRにて携帯電話とメールアドレス入力を行う(連絡先入力との違いも理解する)				
8回	SSRの追加と取消	今まで学んだ様々なSSRをPNRに追加する SSRの取消も行う サービスカタログの見方を学ぶ(車いす、手荷物、バシネットやインファント入力)				
9回	中間テスト	復習(PNR作成～完了と変更・SSR追加まで) 中間試験実施(※後期成績評価対象となる)				
10回	中間テスト答え合わせ	中間テストの返却と答え合わせ				
11回	その他・特別な入力	マイルサービスとは何かを学び、FFP入力を含むPNR作成を行う 完成したPNR構成中のOSIやSSR表示の意味を理解する(何のために入力されているのか) SSRとOSIの違いについて学ぶ				
12回	検定対策Ⅰ	初めての検定に向けての、心構えを学ぶ 検定対策(過去問題と添削)				
13回	検定対策Ⅱ	検定対策(クラスルーム使用・WEB試験にて検定対策を行う)				
14回	期末試験	後期・期末試験の実施				
15回	総復習	後期の総復習(検定初級問題の内容に準じて行う) 後期・期末試験返却と答え合わせ				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	空港実務				クラス	Q①Y選択
担当講師(フルネーム)	原田歩				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	国際線における基礎知識を身につける 出発ロビーでの業務、航空会社のルールを学ぶ				授業形態	講義
到達目標	チェックイン業務においてルールに基づいて対応できるようになる					
使用テキスト	JALグランドスタッフ入門					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション 実習報告		授業の目的、進め方、成績評価方法について 前期の復習 実習報告			
2回	出入国書類		パスポートやビザについて学ぶ 出入国書類に関する航空会社の責任について学ぶ			
3回	CIQ①		CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ			
4回	CIQ②		CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ			
5回	アライアンス		3つのアライアンスについて学ぶ アライアンスに加盟するメリットを理解する			
6回	保安		アメリカ同時多発テロ事件、全日空機ハイジャック事件などについて学ぶ 保安に対する意識を高める			
7回	予約・チェックイン業務①		グループワークについて説明			
8回	予約・チェックイン業務②		グループワーク			
9回	予約・チェックイン業務③		グループワーク			
10回	予約・チェックイン業務④		グループワーク			
11回	予約・チェックイン業務⑤		グループワーク			
12回	予約・チェックイン業務⑥		グループワーク			
13回	実技試験		予約・チェックイン業務			
14回	実技試験		予約・チェックイン業務			
15回	期末試験		1年間のまとめ			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	グランドハンドリング				クラス	Q2
担当講師(フルネーム)	森本 好樹				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	日々変化している航空機地上業務・航空輸送業務に対応できる知識を習得し航空会社が求めるグランドハンドリング業務全般を理解する				授業形態	講義
到達目標	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に必要な関連知識を目的とする					
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・パワーポイント					
成績評価方法	・期末試験 80% 平常点 20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1 回	航空貨物について	・航空貨物とは ・航空貨物輸送の輸送実績、推移 ・福岡空港における貨物輸送の概要				
2 回	航空危険物とは①	・通則、基本業務 ・受託要件 ・IATA第9分類について				
3 回	航空危険物とは②	・リチウムイオン電池の取り扱いについて ・危険物SDS(MSDS)について ・危険物申告書、SLフォーム、マーキング、ラベリング				
4 回	航空危険物とは③	・保管基準、積み付け基準 ・搭載基準、隔離基準、磁性物質の搭載、放射性物質の搭載 ・運航SKD/飛行時間/就航都市/PAYLOAD/時差				
5 回	CLM(カーゴローディングマニュアル)について①	・貨物、郵便受託基準 ・保管基準、荷役作業基準、パーシャルロード ・ULDブレークダウン基準、荷受人への引き渡し				
6 回	CLM(カーゴローディングマニュアル)について②	・CARGO COMPARTMENT、ULD COMPARTMENT ・ULDコンフィグレーション ・ULDパーシャルローディング、ZONRローディング				
7 回	CLM(カーゴローディングマニュアル)について③	・DUTY LOADMASTER、荷役作業基準、保管基準、積み付け基準 ・隔離基準、通気がひつような動物、パレット積み付け ・VAL、遺体、遺骨 WET貨物、超精密機械について				
8 回	CLM(カーゴローディングマニュアル)について④	・タイダウン要件、用具、Gファクター ・固縛方法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ ・タイダウン手順、代表的なタイダウン方法				
9 回	LOADING MANUAL詳細	・機種別貨物室について前期を踏まえた詳細確認 ・ULD コンフィグレーションについて ・ULD搭載とGSEについて				
10 回	安全品質管理①	・目的、適用、用語の定義 ・基本方針、安全文化の醸成 ・安全管理システムの運営、安全の目標				
11 回	安全品質管理②	・法令および規定の順守、報告の奨励 ・委託先完全管理システムの点検、評価 ・責任と権限、安全に関する会議体				
12 回	安全品質管理③	・酒精飲料等の摂取に関するリスク管理体制 ・薬物等の摂取に関するリスク管理体制 ・インシデント対応要領				
13 回	安全品質管理④	・リスクマネジメント ・教育、訓練と安全啓発 ・HUMAN FACTORの推進				
14 回	前期期末試験	・後期授業まとめ ・期末試験(30分間)				
15 回	前期授業振り返り	・期末試験返却 解説				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	CA受験対策				クラス	Qクラス
担当講師(フルネーム)	平井 奈美江				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職面接における一次面接突破のために第一印象を整える				授業形態	講義
到達目標	CA受験に自信を持って臨める為の面接レベルを目標とする					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験40% 平常点60% 授業態度、課題、身だしなみによる評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について CAの仕事のおさらい、不安に感じている事などを共有				
2回	印象力について	CA面接本番に向けて第一印象を見直す				
3回	企業研究	企業について深堀り 志望動機を考えてみる				
4回	企業研究	企業について深堀り エントリーシートの書き方				
5回	面接対策	集団面接 質疑応答 立ち居振る舞い、言葉遣い、所作などを確認				
6回	面接対策	集団面接 質疑応答 立ち居振る舞い、言葉遣い、所作などを確認				
7回	中間試験	入退室の含む面接試験				
8回	面接対策	グループディスカッション				
9回	面接対策	グループディスカッション				
10回	面接対策	企業に合わせた面接対策				
11回	面接対策	個別面接				
12回	面接対策	総合まとめ対策				
13回	期末試験①	CAの志望動機を発表				
14回	期末試験②	グループディスカッション面接試験				
15回	まとめ	これまでの授業を振り返り、自己分析をして2年生に向けての目標を設定する				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	プレゼンテーション				クラス	Q①
担当講師(フルネーム)	原田 歩				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	大勢のお客さまの前で話すことを想像し、表情や話し方を磨く 自分の考えを相手に伝える				授業形態	講義
到達目標	自分の殻を破り、自信を持って話せるようになる					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	授業態度、実技にて評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法について ・動画撮影				
2回	今の自分を知る	・自己評価を共有する ・見た目の印象アップを図る				
3回	ポイント①	・ポイントを学ぶ ・ポイントを取り入れ変化を学ぶ				
4回	ポイント②	・ポイントを取り入れ変化を学ぶ ・相手との距離に合わせて話す				
5回	テーマ①	・提示されたテーマに基づき、ペアでプレゼンテーションを行う ・評価および共有する				
6回	テーマ①	・提示されたテーマに基づき、ペアでプレゼンテーションを行う ・評価および共有する				
7回	テーマ②	・ペアで決めたテーマに基づき、プレゼンテーションを行う ・評価および共有する				
8回	テーマ②	・ペアで決めたテーマに基づき、プレゼンテーションを行う ・評価および共有する				
9回	テーマ③	・各自で決めたテーマに基づき、プレゼンテーションを行う ・評価および共有する				
10回	テーマ③	・各自で決めたテーマに基づき、プレゼンテーションを行う ・評価および共有する				
11回	グループワーク	・大人数参加型のイベントを考案する				
12回	イベント	・イベント開催				
13回	今の自分を知る	・自分についてプレゼンテーションを行う ・動画撮影				
14回	今の自分を知る	・自分についてプレゼンテーションを行う ・動画撮影				
15回	今の自分を知る	・自分についてプレゼンテーションを行う ・動画撮影 ・自分の変化に気づく				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	危険物取扱者対策(選択)				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	池内 勝				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得及び危険物取扱全般				授業形態	講義
到達目標	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得					
使用テキスト	危険物取扱必携法令編及び実務編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	燃焼と消火	物理及び化学の基礎について				
2回	燃焼と消火	物理及び化学の基礎について				
3回	燃焼と消火	危険物の性質 消火方法、消火設備について				
4回	燃焼と消火	危険物の性質 問題解説				
5回	燃焼と消火	危険物の性質 問題解説				
6回	燃焼と消火	過去問題を解く 問題解説				
7回	燃焼と消火	過去問題を解く 問題解説				
8回	国家試験対策	過去問題を解く 問題解説				
9回	国家試験対策	過去問題を解く 問題解説				
10回	国家試験対策	過去問題を解く 問題解説				
11回	国家試験対策	過去問題を解く 問題解説				
12回	国家試験対策	過去問題を解く 問題解説				
13回	国家試験対策	過去問題を解く 問題解説				
14回	期末試験対策	後期のまとめ 期末試験対策について				
15回	期末試験	期末試験対策の解説 後期の授業の進め方について				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル、鉄道、エアライン、IT	
科目名	TOEIC(選択)				クラス	ENQH
担当講師(フルネーム)	日高 郁子				実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。				授業形態	講義
到達目標	各自の目標スコアを達成する。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500 / プリントなど					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方について TOEICとは? TOEICミニテスト				
2回	品詞問題&Part1	品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part5				
3回	時制&Part2	時制の総復習 Part2解き方 Part5				
4回	自動詞&他動詞Part3	自動詞・他動詞の見分け方 自動詞、他動詞を見分けて問題を解く Part3 Part5				
5回	不定詞&Part3	不定詞 Part3 Part5				
6回	動名詞&Part4	動名詞 Part4 Part5				
7回	分詞の形容詞的用法 Part4	分詞の形容詞的用法 Part4 Part5				
8回	Part7	Part7(長文の解き方) Part5 単語練習				
9回	名詞・冠詞 part6	名詞・冠詞 Part6 Part5				
10回	接続詞 Part1&2	接続詞 Part1&2 Part5				
11回	関係代名詞 Part3	関係代名詞 Part3 Part5				
12回	模擬テスト (リーディング)	模擬テスト 解答				
13回	仮定法	仮定法 Part6 Part5				
14回	期末テスト	期末テスト				
15回	文法総復習	後期復習 期末返却				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空機概論				クラス	P
担当講師(フルネーム)	吉原 正彦				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	航空機の発達、技術の進歩および飛行機が飛ぶしくみについて学ぶ 世界の国で活躍する旅客機のメーカー・機種・メカニズムについて学ぶ				授業形態	講義
到達目標	航空機の名称と各部の機能、役割、メカニズムについて理解する					
使用テキスト	航空知識のABC・必要に応じプリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的について具体的に説明する 授業の進め方・成績評価方法について説明する 航空機に対する思い、イメージ等について意見交換を行う				
2回	航空機製造メーカー	航空機製造メーカーについて学ぶ 航空機製造の流れについて学ぶ 航空機製造において、共同開発に参画している日本企業について学ぶ				
3回	飛行機の構造	飛行機の形、その理由について学ぶ 飛行機の各部の名称・機能について学ぶ 飛行機の構造と製造プロセスについて学ぶ				
4回	飛行の原理	飛行機と航空機との違いについて学ぶ 飛行機が飛ぶための原理(4つの力)について学ぶ 離陸・旋回・着陸のための仕組みについて学ぶ				
5回	旅客機のメカニズム	飛行機が軽くて丈夫なわけについて学ぶ 飛行機の形、その理由について学ぶ胴体断面が円い理由について学ぶ 旅客機の主翼はなぜ細長いのか？主翼には何が入っているのか？について学ぶ				
6回	機体構造と役割	主翼・水平尾翼・垂直尾翼が飛行に果たす役割について学ぶ 動翼(スポイラー・フラップ・エルロン・エレベーター・ラダー)及び主輪・前輪の構造、役割について学ぶ				
7回	機体構造と役割	制動装置(ブレーキ・システム)の仕組みについて学ぶ 地表と航空機をつなぐ着陸装置(緩衝装置)について学ぶ 航空機用タイヤについて学ぶ				
8回	機体構造と役割	飛行機の発電システムと動力供給システムについて学ぶ 飛行機の与圧・空調装置の仕組みについて学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
9回	機体構造と役割	ジェット・エンジンの仕組み、働きと種類について学ぶ ターボジェット・エンジン、ターボプロップ・エンジン、ターボシャフト・エンジンの違いについて学ぶ ターボファン・エンジンの働きについて学ぶ				
10回	機体構造と役割	機体の内部構造、各種ドアについて学ぶ 客室(座席の種類・座席の配列・ギャレーの構造及び機能、等)について学ぶ 貨物室(前方・後方・バルク)について学ぶ				
11回	飛行機の運航システム	旅客機のcockpitの仕組みについて学ぶ 日本の航空会社で活躍中の最新旅客機のcockpitについて学ぶ 「巡航高度はどのように保たれているか」について学ぶ				
12回	飛行機の運航システム	電波・目視・ボイスなど様々なアプローチ法について学ぶ 安全運航を脅かす気象現象について学ぶ 自動操縦装置機能が安全運航に果たす役割について学ぶ				
13回	飛行に関わる機体の要素	飛行機に装備されている灯火系統の種類と役割について学ぶ 飛行機に装備されている多種多様なアンテナについて学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
14回	期末試験	ハイテクを駆使して収益性や環境保護に配慮した最新鋭旅客機について学ぶ 期末試験を実施				
15回	まとめ	期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ、補足				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	P
担当講師(フルネーム)	Christian Meikado				実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself with a lot of partner work. A lot of vocabularies. Practicing role plays. Understanding various culture points.				授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	チャレンジブック#4、各種プリント配布					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション Warm Up: P7, Vocabulary: P1 チャレンジブック P7 とにかくひとこと Dialog 1	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with A Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
2回	Warm Up: P7, Vocabulary: P1 チャレンジブック P8 とにかくひとこと Dialog 1	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with A Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
3回	Warm Up: P7, Vocabulary: P2 チャレンジブック P9 とにかくひとこと Dialog 2	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with B Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
4回	Warm Up: P10, Vocabulary: P2 チャレンジブック P10 とにかくひとこと Dialog 2	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with B Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
5回	Warm Up: P10, Vocabulary: P3 チャレンジブック P11 とにかくひとこと Dialog 3	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with C Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
6回	Warm Up: P10, Vocabulary: P3 チャレンジブック P12 とにかくひとこと Dialog 3	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with C Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
7回	Warm Up: P13, Vocabulary: P4 チャレンジブック P13 とにかくひとこと Dialog 4	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with D Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
8回	Warm Up: P13, Vocabulary: P4 チャレンジブック P14 とにかくひとこと Dialog 5	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with D Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
9回	Warm Up: P13, Vocabulary: P5 チャレンジブック P15 とにかくひとこと Dialog 5	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with E Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
10回	Warm Up: P16, Vocabulary: P5 チャレンジブック P16 とにかくひとこと Dialog 6	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with E Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
11回	Warm Up: P16, Vocabulary: P6 チャレンジブック P21 とにかくひとこと Dialog 6	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with F Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
12回	Warm Up: P16, Vocabulary: P6 チャレンジブック P22 とにかくひとこと Dialog 7	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with F Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
13回	Warm Up: P19, Vocabulary: P7 チャレンジブック P23 とにかくひとこと Dialog 7	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with G Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
14回	Warm Up: P19, Vocabulary: P7 チャレンジブック P24 とにかくひとこと Dialog 8	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with G Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
15回	Warm Up: P19, Vocabulary: P8 チャレンジブック P25 とにかくひとこと Dialog 8, test	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with H Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	観光英語				クラス	P
担当講師(フルネーム)	秋満陽子・挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	エアライン・観光ビジネスに必要な英語の語彙と表現を学ぶ プロとして必要な英語コミュニケーションを場面に応じて学ぶ				授業形態	講義
到達目標	航空・観光系の英語を身につける。接客に必要な英語表現を学び、実際に会話ができるようになる。					
使用テキスト	English for Tourism Professionals					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Unit8(1) Working at the boarding gate	パスポートの確認 搭乗ゲートでの対応について学ぶ Vocabulary and Useful Expressions				
2回	Unit8(2) Working at the boarding gate	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play				
3回	Unit8(3) Working at the boarding gate	Topic Reading 空港のセキュリティ対策 フライトに遅れやキャンセルが生じた場合				
4回	Unit9(1) Offering in-flight services	life-jacketの使い方 While boarding お客様の手助け During the meal service 食事のサービス				
5回	Unit9(2) Offering in-flight services	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play				
6回	Unit9(3) Offering in-flight services	Topic Reading 機内アナウンス ファーストクラスについてのパンフレット				
7回	Unit10(1) Giving CIQ information	customs,immigration,quarantine entry formについて customs formについて				
8回	Unit10(2) Giving CIQ information	Dialogue Study 免税に関する情報 Role Play				
9回	Unit10(3) Giving CIQ information	Topic Reading カナダの税関申告書の説明を読む 税関申告書を記入する				
10回	Unit3(1) Escorting a tour	ツアーコンダクターの業務 ツアーコンダクターと客室乗務員の会話 ツアーコンダクターとホテルのフロント係の会話				
11回	Unit3(2) Escorting a tour	病人について伝える 遺失物について伝える Role Play				
12回	Unit4(1) Welcoming international tourists	海外からのお客様を迎える 日本の観光地 バスツアーのガイドと乗客の会話				
13回	Unit4(2) Welcoming international Tourists	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play				
14回	期末試験	Unit8/Unit9/Unit10 Unit3/Unit4				
15回	まとめと復習	後期の復習 期末試験のフィードバック				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	社会情勢研究				クラス	Pクラス
担当講師(フルネーム)	久保田 博子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	インターネットを通じて、社会情勢を理解する				授業形態	講義&演習
到達目標	・メディアリテラシーを身につける ・自分の意見をまとめ、表現する					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	提出物、授業内プレゼンテーション、授業態度等で評価する ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法について理解する メディアリテラシーとは何かを知る 新聞の文章の特徴をつかむ				
2回	新聞社デジタル版のコラムを読む	コラムを読み、自分の意見をまとめ、発表する				
3回	新聞社デジタル版を読む①	全国紙3紙新聞社デジタル版の社説を読み、特徴をつかむ				
4回	新聞社デジタル版を読む②	全国紙3紙新聞社デジタル版の社説を読み、特徴をつかむ				
5回	朝日新聞デジタル版を読む①	記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する				
6回	朝日新聞デジタル版を読む②	記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する				
7回	毎日新聞デジタル版を読む①	記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する				
8回	毎日新聞デジタル版を読む②	記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する				
9回	読売新聞デジタル版を読む①	記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する				
10回	読売新聞デジタル版を読む②	記事の中から興味がある記事について自分の意見をまとめ、発表する				
11回	新聞社デジタル版を読む	2025年のニュースを振り返る				
12回	新聞を作る①	記事の中から興味がある記事を選び、新聞を作る (社会・政治・経済・国際・地域の各欄から一記事ずつ選ぶ)				
13回	新聞を作る②	作成した新聞を読み、意見・感想を発表する				
14回	新聞社デジタル版を読む ① 「私のトップニュース」	記事の中から興味がある記事について自分の意見をまとめ、発表する				
15回	新聞社デジタル版を読む ② 「私のトップニュース」	記事の中から興味がある記事について自分の意見をまとめ、発表する				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	エアライン 科	
科目名	コンピュータ				クラス	P
担当講師(フルネーム)	乙 咩 清美				実務経験	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。				授業形態	講義
到達目標	表計算技能検定2級レベルの習得および資格取得。社会人として必要なパソコンスキルの活用力・応用力を習得する。					
使用テキスト	30時間でマスター Office2019					
成績評価方法	・期末試験、提出課題70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Office活用	報告書のフォーム作成 社会生活の中で必要な電子印鑑について				
2回	Office活用	PowerPointでメッセージスライド作成				
3回	Office活用	PowerPointでメッセージスライド作成				
4回	Office活用	Excel復習 オートSUM活用、前年比・構成比の計算				
5回	Office活用	Excel復習 IF関数、VLOOKUP関数など				
6回	Office活用	HalloweenパーティのDMを作ろう① Excelで名簿作成 WordでDM用チラシ作成				
7回	Office活用	HalloweenパーティのDMを作ろう② DM仕上げ Word差し込み印刷機能でDMに宛名挿入				
8回	Office活用	WordとExcelを組み合わせ、報告書作成				
9回	Office活用	WordとExcelを組み合わせ、報告書作成				
10回	Office活用	クリスマスカード作成① 作成する内容をWord、またはPowerPointでまとめる コンテンツの準備				
11回	Office活用	クリスマスカード作成② 仕上げ、PDFファイル化 クラウドにアップロード				
12回	Office活用	Word チラシ作成				
13回	Office活用	Word チラシ作成				
14回	Office活用	WordとExcelを組み合わせ、報告書作成				
15回	Office活用	WordとExcelを組み合わせ、報告書作成				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア				クラス	P
担当講師(フルネーム)	横瀬 敦子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	運賃計算を主に、運賃表からの運賃規則やルーティングを確認する。 また、PNR作成後の最安値運賃計算や発券操作も行う。				授業形態	講義&演習
到達目標	アマデウスシステム検定・中級を取得する(希望者のみ)。					
使用テキスト	amadeus ユーザーガイド予約 運賃・発券 早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	前期復習	後期授業の進め方について(検定受験について・学生便覧にて確認) 前期予約全般応用力練習(PNR分割とコピー)				
2回	予約全般(応用編)Ⅰ	アマデウス履歴画面の使用方法を学ぶ(操作のさらにスピードアップをねらう) ダイレクトアクセスについて学ぶ 旅客名の訂正について学ぶ				
3回	予約全般(応用編)Ⅱ	サービスカタログを使用してSSR入力する(グラフィック画面使用) バシネット・車椅子の入力練習をする(グラフィック画面使用) OSIIにて同行者・海外滞在先の入力を行う				
4回	運賃表復習	運賃表にて、各航空会社の最安値運賃を確認する(復習) 運賃表からの、規則確認(手数料・予約や発券期限・ストップオーバーなど)を行う				
5回	ルーティング	運賃表からの、(各航空会社指定の)飛行ルートを確認する				
6回	PNR作成後の運賃計算Ⅰ	PNR作成後、運賃計算を行う(FXP/FXX)				
7回	PNR作成後の運賃計算Ⅱ	運賃計算後の画面確認を行う				
8回	中間テスト	予約応用全般・運賃表・運賃ルール・PNRからの運賃計算まで				
9回	BEST PRICER①	PNR作成後、最安値運賃を表示させる(FXA)				
10回	BEST PRICER②	PNR作成後、最安値運賃で再予約する(FXB/FXR) 入力の違いを理解する				
11回	PNR作成と発券Ⅰ	TSTとは何かを理解する 発券操作(発券に必要な3項目)と画面確認を行う				
12回	PNR作成と発券Ⅱ	PNR作成後のTST作成 お客様控えの印刷				
13回	検定対策	中級試験の内容(選択問題とPNR作成について)を理解する 検定対策(過去問題と添削)				
14回	期末試験	期末試験実施 予約全般(便利入力を使用しPNR作成を行う、SSR/分割&コピーを含む) 運賃全般(作成したPNRからの最安値運賃を計算して発券操作からお客様控えを印刷する)				
15回	総復習	期末試験実施試験の返却と答え合わせ				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	CAゼミ				クラス	P
担当講師(フルネーム)	奥村 リサ				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	客室乗務員の職務・役割を深く理解し、自覚と責任感を育てる 実践的なケーススタディやロールプレイを通じて、プロとしての対応力を養う				授業形態	講義&演習
到達目標	CAになる自覚を持つ					
使用テキスト						
成績評価方法	授業態度・身だしなみ・課題の取り組みにより評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について CAの仕事のおさらい 後期の目標設定				
2回	CAの一日と役割分担	乗務前～乗務後の業務を具体的に追う				
3回	フライト前後の準備・報告業務	ブリーフィング、整備士・GSとの連携、報告書など				
4回	安全と保安①	保安要員としてのCAの役割 安全性チェックについて				
5回	安全と保安②	緊急総合訓練について				
6回	機内サービスの本質	「マニュアル+α」のホスピタリティとは				
7回	お客様理解と多様性対応	多様なお客様への配慮				
8回	プロとしての敬語力	接遇敬語の確認と機内での適切な使い方				
9回	トラブル対応	機内で起こり得るトラブルのロールプレイ				
10回	チームワークとリーダーシップ	コミュニケーション力の強化				
11回	ケース発表準備	フライトの一場面を想定し対応を考える				
12回	ケース発表	発表とフィードバック				
13回	社会人としての自覚①	航空業界で求められる責任・姿勢				
14回	社会人としての自覚②	時間管理・所作・言葉遣い・習慣				
15回	まとめ	理想のCA像・これからの目標				